

---

# 1. SBTとは？

---

# SBT (Science Based Targets) とは？



- パリ協定が求める基準（気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力をする）と整合した、**企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のこと**
- 日本は、世界全体のSBT参加企業の約18%を占め、国別で首位となっている



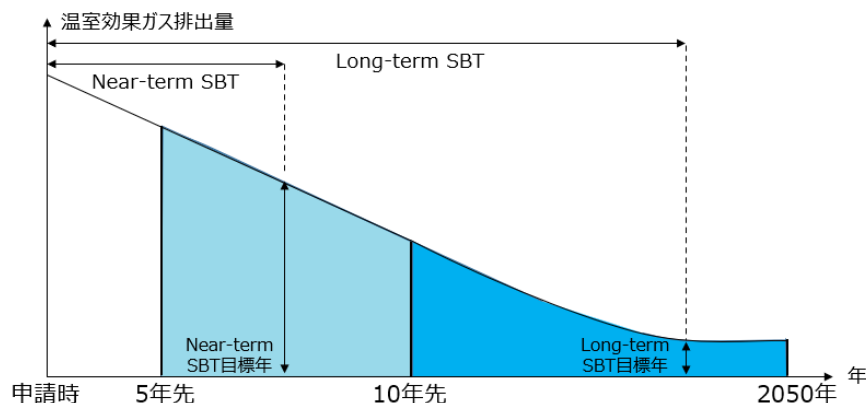
- SBTとは、パリ協定が求める基準と整合した、科学的根拠に基づく企業の温室効果ガス排出削減目標のこと。
- 企業は、Near-term SBT（短期目標）とLong-term SBT（長期目標）等の設定を行う。※1

## Near-term SBT

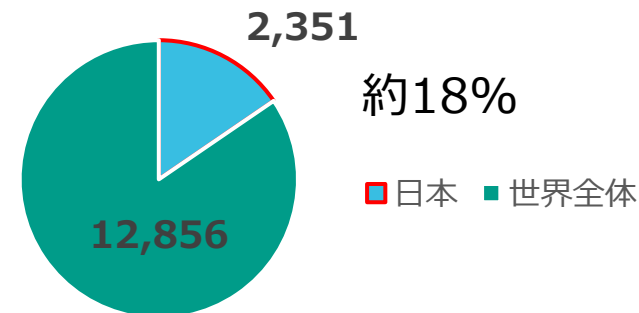
1.5℃目標と整合する削減経路に沿った、5～10年を対象期間とする温室効果ガス排出削減目標。

## Long-term SBT

1.5℃目標と整合する削減経路に沿った、10年以上先を対象期間とする、遅くとも2050年までに達成される温室効果ガス排出削減目標。



Near-term SBTとLong-term SBT※2



SBT参加企業数（認定取得及びコミット）※3

※1 SBT Net ZeroについてはP102を参照

※2 [出所] SBTi Corporate Net-Zero Standard Version 1.3.1 (<https://files.sciencebasedtargets.org/production/files/Net-Zero-Standard.pdf>)、SBTi Glossary (<https://files.sciencebasedtargets.org/production/files/SBTi-Glossary.pdf>) より作成

※3 Science Based Targetsホームページ Companies Take Action (<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>) より作成（2026年3月31日現在）

# SBT (Near-term SBT) のイメージ



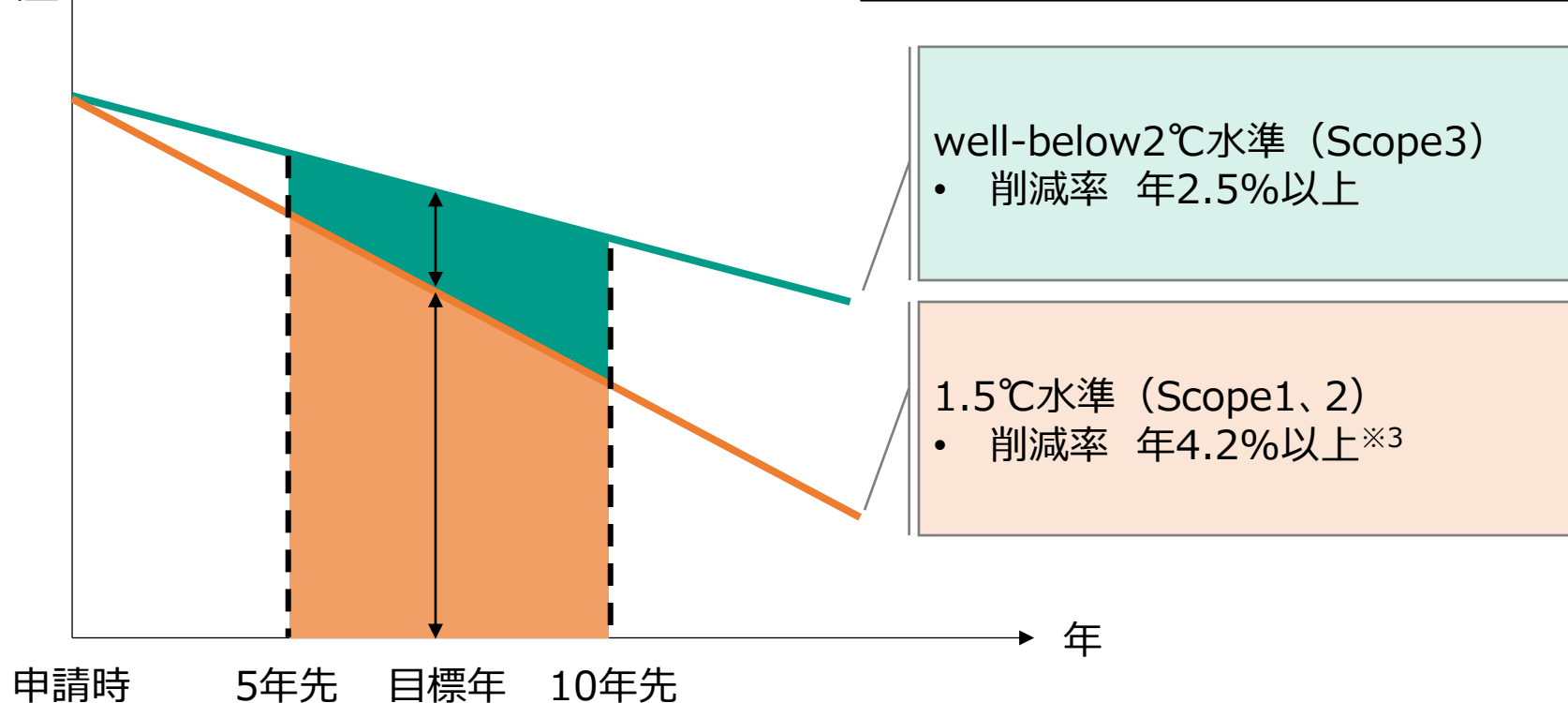
- Near-term SBT<sup>※1</sup>は、申請時から5～10年先を対象とした温室効果ガス削減目標（短期目標）で、原則として4.2%/年以上<sup>※2※3</sup>の削減目標を設定する

※1 想定気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑えるために必要な水準（下図、P69～100参照）

※2 本資料中においては、特段の注記のない場合にはSBT=Near-term SBTとして記載する

温室効果ガス排出量

SBTi Corporate Net-Zero Standard Version 1.3.1に準拠



※3 2026年4月29日にSBTiホームページにて公表された改定では、2050年までのネットゼロ達成及び基準年から目標年までの最低年間削減率の下限を4.2%とすることは維持されつつも、短期目標における排出削減量の算定方法が基準年と目標年を考慮する算定方法に変更された。これにより、2026年・2027年に新たに目標を設定する企業が設定する削減率が過度に厳しくなることを防ぐとともに、今後、削減目標を更新する企業が、過去の削減実績を踏まえた削減計画を立てることができるようになる。なお、従来の削減率の算出方法に基づいて認定された目標は引き続き有効である。

[出所] SBTi公式ホームページ (<https://sciencebasedtargets.org/news/the-sbti-updates-the-absolute-contraction-approach-to-improve-consistency-and-implementation-while-maintaining-net-zero-ambition>)

# SBTが削減対象とする排出量

- **サプライチェーン排出量**（事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した排出量）の削減が、SBTでは求められる
- サプライチェーン排出量 = **Scope1排出量** + **Scope2排出量** + **Scope3排出量**



○の数字はScope3のカテゴリ

**Scope1** : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

**Scope2** : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

**Scope3** : Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）